

科目	作業療法学特論Ⅱ	担当	竹田 徳則	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では、超高齢社会の日本で増加が確実な認知症について、作業療法士に求められている非薬物療法による介入法や認知症予防の考えとその実践法を理解する。受講者は、①認知症の人との関わり方の基本を理解する、②認知症に対する非薬物療法を説明できるようになる、③作業療法実践例とその根拠を説明できるようになることを目標とする。

【履修注意】

毎回出席を原則とする。

本科目では、認知症の人が住み慣れた地域において、安心・安全に生活していけるための支援のあり方を医学モデルにとらわれず地域包括ケアの観点から捉え、作業療法士の適切な介入に必要な知識と技術を学んでほしい。なお、予定変更の場合もある。

【評価方法】

レポート、試験等を総合して評定する。

【試験について】

記述試験。

再試験対象者の条件：60点未満

【予習・復習】

前回授業内容の重要点を毎回確認する。学生は、毎回の講義に対して45分の予習や復習が必要である。

【教科書】

：認知症の作業療法(第2版)：小川敬之・竹田徳則(編)。医歯薬出版。2016。(購入済み)

【参考書】

授業において適宜紹介する。

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	認知症の作業療法①	認知症の定義、分類、症状
2	認知症の作業療法②	認知症の理解、BPSD、パーソン・センタード・ケア
3	認知症の作業療法③	非薬物療法、認知症作業療法の動向、認知症初期集中支援
4	認知症の作業療法④	非薬物療法、認知症作業療法の動向、認知症初期集中支援
5	認知症の作業療法⑤	ケアマネジメント、社会資源、地域活動
6	認知症の作業療法⑥	ケアマネジメント、事例検討
7	認知症の作業療法⑦	ケアマネジメント、事例検討
8	認知症の作業療法⑧	今後の認知症作業療法、7回の復習・確認・まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		